

9. 写真資料館



1840年頃から今日までの六十万点の写真
を所蔵し、イタリアの写真の歴史を物語る
最も貴重な資料館のひとつである。

様々なプリント技術の記録であるばかりか、
所蔵写真はミラノやロンバルディア地方を
始め、イタリア各地及びヨーロッパ、そし
てヨーロッパ圏外の国々の歴史的・社会的
事件、芸術的な面でも自然の面でもはや
遺産とも言える貴重なものである。

最も重要なのはルカ・ベルトラミの建築上
の研究を記録する写真資料室、そして初の
イタリアの写真コレクターであり歴史家でも
あったランベルト・ヴィターリの寄贈品
が挙げられる。増加するこれらのコレク
ションの一部は一般に公開され、コン
ピューター検索も可能である。

10. 考古学・貨幣研究図書館

1808年に創立された考古学・貨幣研究専門図書館は、今日、約三万冊の現代書籍、662冊の古書、600タイトルの定期刊行物、オーディオ映像、歴史資料などが数え挙げられる。

城内で行なわれている工事の為に一時的に休館しているが、目録のオンライン検索が一般に提供され（OPAC）、データバンク情報（stand alone）、マイクロフィルムサービス、出版物の配達などが一般に提供されている。実際、この図書館は、数年前から考古学、貨幣研究、古文書研究、古銭研究に関する書籍編集という重要な活動を企画している。

CASVA（視覚芸術高等研究所）内にこの図書館の併合を予定しているが、アンサルド「文化都市」を誕生させるプロジェクトが実現した際には、そこに本拠が置かれ、市立美術図書館、市立写真資料館、ダ・ヴィンチ・コレクション、市立装飾美術図書館、テキスタイル・ファッションに関するトレメローニ財団図書館などからの公私を問わない重要図書、興味深い考古学や美術史に関する文書、写真などのコレクションで構成される予定である。

